

取組みのカテゴリ

安全パトロール

労働安全教育の工夫

はさまれ・巻き込まれ対策

腰痛対策

墜落・転落対策

企業情報

所在地：神奈川県

従業員：148名

背景

- 実際に労働災害が発生したため
- 労働安全活動が形骸化しており、取組みにも熱が入っていなかったため

取組内容

1. 【トップマネジメントによる安全パトロール】

- 当社神奈川総合工場における安全パトロールに本社から社長に参加していただいています。
- パトロールでは、客観的かつ厳格に指摘頂き、迅速な対策検討とフォローアップを行っています。
- トップの率先垂範の活動で、安全最優先の意識付けができましたし、パトロール自体が緊張感のあるものになりました。また、費用の掛かるリスク対策の判断も早くなりました。



2. 【安全意識向上のための労働安全教育】

- 企業としての安全の考えと従業員の安全意識向上のため、安全教育に力を入れています。新入社員に対する安全の教育は、入社2日目から開始し、入社月に安全パトロールに参加させ、危険個所を発表させ、発表した個所は、会社として具体的に対策を講じています。
- 年1回、半日ラインを止めて全従業員への安全教育を実施しています。
- 外部講習を受けた後、自分の職場にどう展開するかを課題にして発表させています。
- 遊休設備を使って、巻き込まれの体感教育を行い、機械に安易に手を出させない意識を身に付けさせています。



3. 【本質安全化のための工学的対策の推進】

- 設備管理担当を製造部署へ異動させ、設備の保全や改造などを製造部員にOJTで教育してもらっています。製造部員のスキルが向上し、非常停止ボタンの移設やインターロック機能が低コストで迅速に行えるようになりました。設備保全の意識が向上し、労働災害につながりやすい故障復旧などの非常作業を減らすことができました。
- はさまれ・巻き込まれ対策として、不安全な状態・作業の注意喚起の表示には限界があり、工学的対策に繋げて欲しいという思いから、「見えないゴリラ」という映像を使った教育を実施し、理解が進みました。



- 見えないゴリラ
あるものに集中していたら容易に見えているものに気付かないというもの

4. 【マット、作業台、作業方法の改善】

- 立作業の工程が多く、女性や高齢労働者も多いので楽な姿勢で作業できるよう作業台や疲労軽減マットを導入しました。
- 対象となる工程を抽出し、準備、設置を順次実施しましたが、マットは段差が転倒災害の要因となったため、高さ調整の工夫を行いました。腰痛対策はもちろん、疲労によるふらつきを予防し、転倒対策にもなりました。
- 廃棄物を入れる袋は重量があり、腰痛の原因になり得るため、重量制限の表示を行い、注意喚起を促しました。さらに、改善を進め、袋のサイズを規定重量の容量のものに変更しました。取扱い回数は増えますが、腰痛の原因となる作業を無くしました。
- 若手従業員が実施していた出荷作業をベテラン従業員が実施することになったので、カゴ車に積むフレコンバックの上限を5袋減らし、積み込み時の持ち上げる動作を無くし、腰痛や転落のリスクを低減しました。



5. 【印字機の変更】

- 印字機で使用しているインクを有機溶剤を使用しないインクに変更し、リスクを軽減しました。

6. 【危険個所の注意喚起表示】

- 高所作業時は、保護具の着用を徹底させるため、赤く表示して遵守意識の喚起と見落としを無くす工夫をしています。



安全の成果

- 様々な労働安全の取組みにより、不慮災害を含めて連続無災害700日を継続しています
- 非定常作業（設備の故障復旧や調整作業など）の削減
- ヒヤリハット件数の増加、従業員からの労働安全に関する教育ニーズの増加

取材年月：2020年11月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。